

取扱説明書

HiKOKI

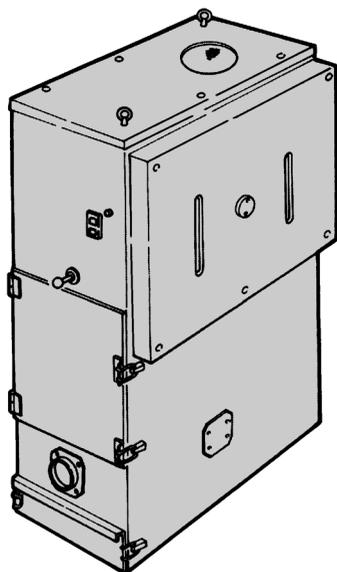
産業用集じん機

一般粉じん用

DUST COLLECTOR

RG 150

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



目次	ページ
注意していただきたいこと	1・2
各部の名称	3
据え付け	4～6
ご使用前に	7
ご使用後に	8～10
仕様	11
別売部品	11
アフターサービスについて	12
構造図、部品表	13・14
接続図	15
保守点検チェックリスト	16
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる各項目を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「注意していただきたいこと」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. 次のものは絶対に吸わせないでください。

火災や故障の原因になります。



ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のもの



高速切断機、ベルトサンダー、グラインダーなどから発生する鉄などの金属粉じん



溶接、はんだのヒューム



アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタンなどの爆発性粉じん



火のついた吸いながら、マッチなど高温のもの



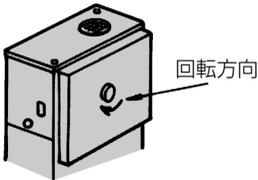
薬品、水、油や塗料、セメント粉など粘着性のもの、カーボン粉じん、5 μ m以下の微細な粉じん

⚠警告

2. 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。表示以外の電源を使用すると、感電・火災や故障の原因になります。
3. 必ずアース（接地）してください。
故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。（詳細は、4ページの「1. アース・漏電しゃ断器の設置について」の項をご参照ください。）
4. 本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。
5. 集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながらご使用ください。
6. 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

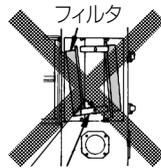
⚠注意

モーターは矢印通りの回転で



故障を防止するためです。

フィルタは正しくセット



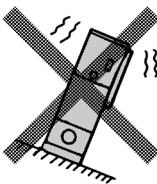
取付けネジ フィルタ押え
フィルタがはずれたまま使用しますとファン破損の原因になります。

フィルタは正規なものを



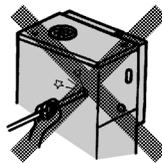
フィルタが破れていたり、穴のあいたまま使用しますと、ファン破損の原因になります。

設置は水平な場所に



振動、転倒の原因になります。

電源コードは大切に



コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。また、引っ張ったり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

本体の移動は正しく



吊りボルトは必ず2本共使用し、移動は静かに。本体破損の原因になります。

注 • 集じん機は、メンテナンスが不十分な場合、思わぬ事故や故障の原因になります。巻末の保守点検チェックリストをご活用いただき、本機を安全かつ有効にご使用ください。

各部の名称

集じんランプ

- 集じん機が運転状態にある間点灯します。
(モーター通電中点灯します。)

回転方向確認窓

- モーターが矢印通りの方向に回転するよう電源コードを接続してください。

吐出口

スイッチ

除じんレバー



- スイッチを切って完全に吸込みが停止してから除じんレバーを前後に動かして、フィルタに付着している粉じんを落してください。
- 除じん後は、ダストボックス内の粉じんを捨ててください。

ファン

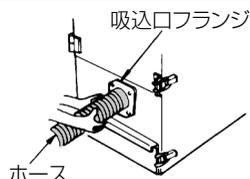
モーター

前フタ

吸込口カバー

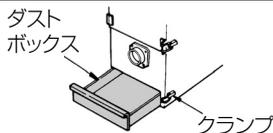
クランプ

吸込口



- ホースをつないでください。

ダストボックス



- クランプをはずしてダストボックスを引き出し、ダストボックスにたまった粉じんを、早目に捨ててください。
- ダストボックス外にこぼれた粉じんは、かき出し棒(納入外)などで、本体外へかき出してください。

フィルタ

- 吸込んだ粉じんを効率良く捕集します。
- 1～2カ月に1回以上定期的に清掃と点検が必要です。

据え付け

1. アース・漏電しゃ断器の設置について

⚠警告

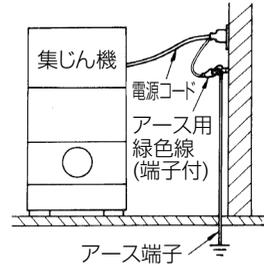
万一漏電した場合の感電事故を防ぐため、

- 本機が接続される電源に、漏電しゃ断器を設置してください。
- 本機は、必ずアース（接地）してご使用ください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でもより安全のためにアース（接地）されるようおすすめします。

設置は次の要領で行ってください。

アースについて

- 電源コードのアース用緑色線先端のアース端子を、ネジ締めして、右図の通りアース線に接続してください。
- アース用緑色線に張力が加わることがないようにしてください。



設備の工事について

- アース設備および漏電しゃ断器に関する工事は、電気設備技術基準および内線規定にしたがった専門工事が必要です。（電気工事店にご相談ください。有料）

アース工事をされる方へ

- アースは第3種接地工事をしてください。
- 既設のアース端子がある場合は、アース性能が十分か確認してください。

漏電しゃ断器工事をされる方へ

- 漏電しゃ断器は、電動機保護用（モータブレーカ）で定格電流 10 A 以上のものを設置してください。
- 既設の漏電しゃ断器がある場合は、上記性能を確認してください。

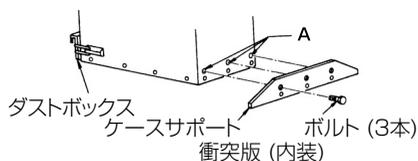
2. 据え付け場所

⚠警告

- 本機は防爆構造ではありません。万一の事故に備え、ガソリン・シンナーなどの引火性物質の近くでは使用しないでください。
- 本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

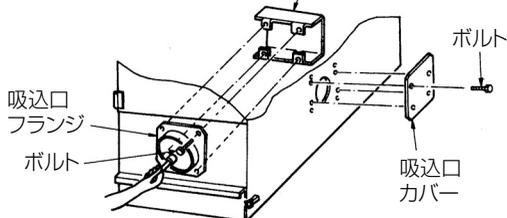
- 床面は、水平で、平らな作業しやすい場所を選んでください。
- 製品質量 (85 kg) を考慮し、十分な床面強度を確保してください。
- 本機には、ケースサポートを付属させております。図のように、必ず取付けて、据え付けを行ってください。

- 本体下部の A 部からはずしたボルトを用い、図の通り、ケースサポートをボルト締めして取付けてください。



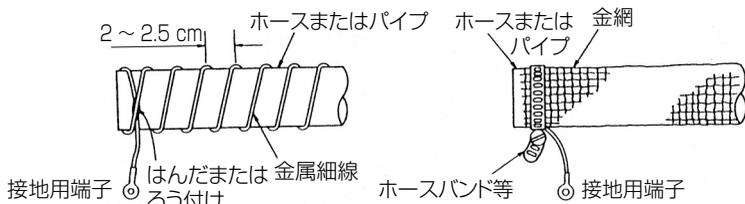
3. ホースの取付け

- 吸込口は 3 面に設けてあります。次の要領で、作業条件に合せ、任意に使い分けてください。



- 吸込口をはずす場合は、吸込口フランジの 4 本のボルトをはずして行ってください。この際、共締めされている内装の衝突板もはずれますのでご注意ください。
- 吸込口を取付ける場合は、吸込口フランジ、衝突板を位置決めし、ボルト締めして取付けてください。
- 不用な吸込口には、吸込口カバーを取付けてください。
- 出荷時の吸込口フランジと吸込口カバーのボルトは仮締めです。据え付け時に締め付けを確認してください。(適正トルク：4.9 N・m (50 kgf・cm))

- 注** ● 静電気による粉じんへの着火及び人体への電撃を防止するため、絶縁性のホースやパイプはアースすることをお勧めします。(4ページの「アースについて」の項もご参照ください)



例 1 金属細線によるアース

例 2 金網によるアース

- ホースやフードの配管は、周囲条件、作業環境などを考慮し、最も損失の少ない適正な作業が必要です。別売部品をご利用のうえ、お買い求めの販売店に作業をご用命ください。
- 金属配管部品を使用される場合は、壁面および壁面内の金属との間を絶縁してください。
- 据え付け直後や除じん後に吐出口から多少の粉じんの吹き抜けがあります。作業環境によっては、排気ダクトの取付けをおすすめします。

4. 電源コードの延長

⚠ 警告

- コード延長の際、コードの継ぎ足しは、火災・感電の恐れがあるので、必ず新しいコードに取り替えてください。

- 設備の関係で、コードを延長される場合は、電圧降下による動作不良を防止するため、コードは十分な太さのものがようになります。右表に、コード太さに対する最大長さ(コード全長)の関係を示します。
(付属のコードは、3 m になっております。)

コード線の最大長さの目安

コード太さ	コードの導体公称断面積 (mm ²)	
	コード長さ	2.0
最大長さ	45 m	80 m

- 注** ● 上表に示すコード長さは、電源事情により若干異なります。延長が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談のうえ、作業をご用命ください。

ご使用前に

1. 先ず、次の確認を

- ダストボックス内がからになっていることを確認してください。
もし、粉じんがたまっていたら、清掃をしてからご使用ください。
- ダストボックスのパッキング部、吸込用ホース、その他の配管に空気もれがなく、正常に取付いていることを確認してください。

2. 電源コードの接続

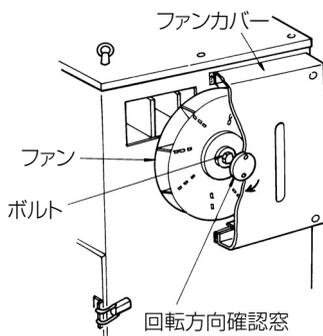
- 電源コードは、銘板に記載してある電源に、正しく接続してください。この際、電源3線中の接地してある相(S相)を、電源コードの白線に接続してください。

3. モーター回転方向の確認

⚠ 注意

- 逆回転で使用するとファン損傷、過電流によるショート・発火の恐れがあるため、必ず正しい回転方向になっていることを確認してください。

- スイッチをONにし、モーターが矢印通りに回転していることを確認してください。逆回転の場合は、電源コードのR相とT相(赤線と黒線)を接続替えして、正回転にしてください。
- 回転方向確認窓から、モーターと一体に回転するボルト部を覗き、銘板の矢印通りの方向に回転していることを確認してください。



ご使用後に

- 注** •必ずスイッチを OFF にし、主電源を OFF にして、完全に吸込みが停止してから行ってください。

1. フィルタの除じん

- 除じんレバーを前後に往復（約 20 回）する除じん操作をして、フィルタに付着した粉じんを落してください。この除じん操作は、粉じんの吸込量にもよりますが、1 日に 1 回以上必ず行ってください。

2. ダストボックスの清掃



警告

- ダストボックス内にたまった粉じんは、必ず毎日捨ててください。次の運転時に粉じんが吹き上げられフィルタに再付着するだけでなく、粉じん爆発の恐れのある粉じん雲の発生原因になります。

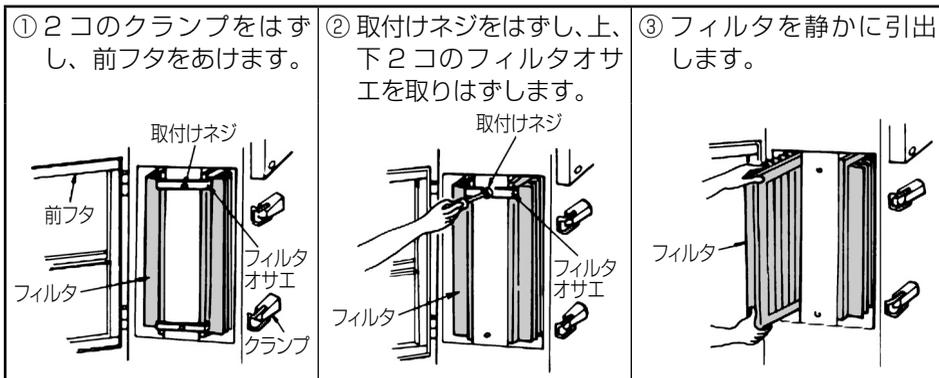
- フィルタの除じん操作後 1 分以上待ってから、クランプ 2 コをはずし、ダストボックスを引き出して、たまった粉じんを捨ててください。
- 粉じんは、早目に捨てるようにし、また、ダストボックス外にこぼれた粉じんも、かき出し棒（納入外）などで本体外へかき出してください。

3. フィルタの清掃および点検

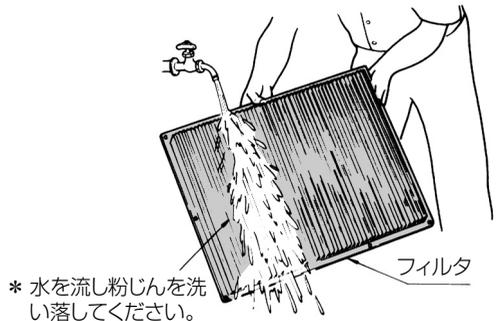
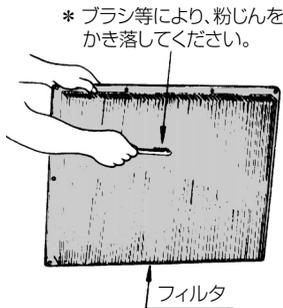
- フィルタは、目詰りがひどくなると、除じんレバーによる操作だけでは除じんが完全でなく、吸込力が低下します。
定期的（1～2 カ月に 1 回以上）に、フィルタを取り出し、ブラッシングや水洗いによる清掃を行ってください。

- 注** •フィルタは消耗品となりますので予備品を準備されることをおすすめ致します。

○フィルタの取り出し方

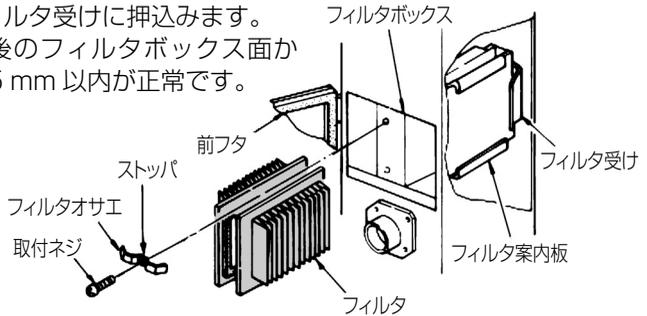


- フィルタは、次のようにブラッシング、または水洗いを行い、目詰りした粉じんを取り除いて吸込力の回復をはかり、性能を保持するようにしてください。なお、水洗い後は陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



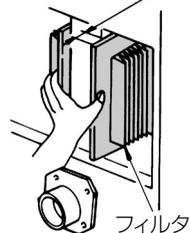
○ フィルタの取付け方

- ① フィルタは、フィルタボックス側面に押付けながら、上・下のフィルタ案内板をガイドにして、フィルタ受けに押し込みます。フィルタ挿入後のフィルタボックス面からの突出量は5 mm 以内が正常です。



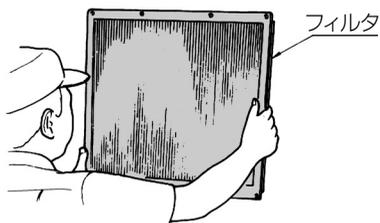
- ② 次に、2 コのフィルタを手で挟み、フィルタオサエで固定します。その際、フィルタオサエのストッパがフィルタボックス面に当たるまで、取付ネジにより締付けます。
- ③ 最後に、フィルタ取付部に隙間なく、確実に取付けられていることを確認してください。

5mm以内
(フィルタの突出量)



警告

- フィルタは正しく取付けて使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。粉じんがモーター内に入り、モーター焼損などの故障の原因になります。

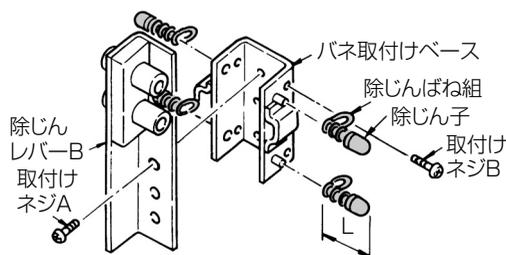


- フィルタをすかして見て、破れや穴の有無を点検してください。

4. 除じんレバーの点検

⚠警告

- フィルタの点検と合せ、定期的(1～2ヵ月に1回以上)に、除じんバネ組の除じん子の摩耗状態を点検してください。



- 取付けネジ A をはずし、バネ取付けベースをはずします。
次に、取付けネジ B をはずし除じんバネ組をはずします。

- 注** ●L寸法=35 mm 以下は除じんバネ組が交換時期ですので、お買い求めの販売店にご用命ください。

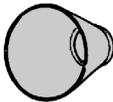
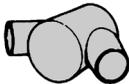
仕 様

電 源	三相交流 200 V 50 Hz または 200 V 60 Hz 専用
電 流	5 A
モーター定格出力	750 W
最 大 風 量	15 m ³ /min
最 大 真 空 度	2.75 kPa {280 mm 水柱}
除 じ ん 方 式	手 動
ダストボックス容量	14 L
ホ ー ス 取 付 径	125 mm
概 略 質 量	85 kg
< 概 略 寸 法 > 幅 × 奥 行 × 高 さ	350 × 600 × 1,205 mm

- 性能は JIS B8330 に準拠して測定、風量は本体のみ（ホース不付）の値です。

別売部品 （別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください）

販売店にお問い合わせください。

ホース	丸フード	分岐管
		

アフターサービスについて

使用中に異常が生じたときは

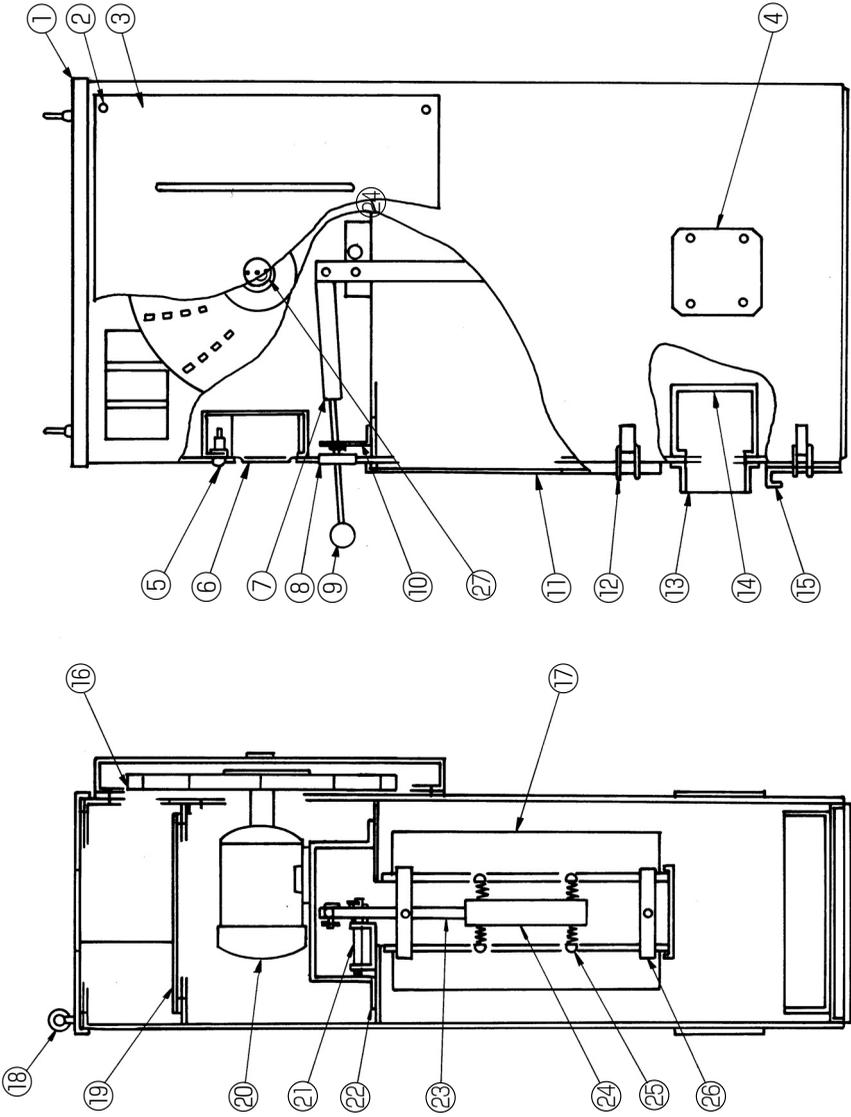
⚠警告

●修理を依頼される前にこの取扱説明書を良くお読みのうえ、下表の点検をしていただき、それでも不具合な場合はご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

●アフターサービスについてご不明の場合、その他のお困りの場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

こんなときは	点検となおしかた
モーターが回らない。 (全く吸込まない)	<ul style="list-style-type: none">●電源コードがはずれていないかどうか点検してください。●「ブーン」となっている場合は、電源コードの断線などで、単相運転が原因ですので、すぐにスイッチを切って、電気工事専門家に点検を依頼してください。
吸込力が弱い。	<ul style="list-style-type: none">●フィルタの除じんとダストボックス内の粉じんを捨ててください。●モータの回転方向が、矢印と逆方向の場合は、電源コードの黒線と赤線を入れかえて接続し直してください。●ホース内や吐出口金網部にゴミが詰まっていたら取り除いてください。●ホースのつなぎ目にすきまがないかどうか、また、ダストボックスがクランプで確実に固定されているかどうかを点検してください。●除じん子の摩耗による除じん不良(フィルタ目詰り)の有無を確認してください。
排気と共に粉じんが吹き出す。	<ul style="list-style-type: none">●フィルタが破れていたり、正しく取付けられているかどうか点検してください。

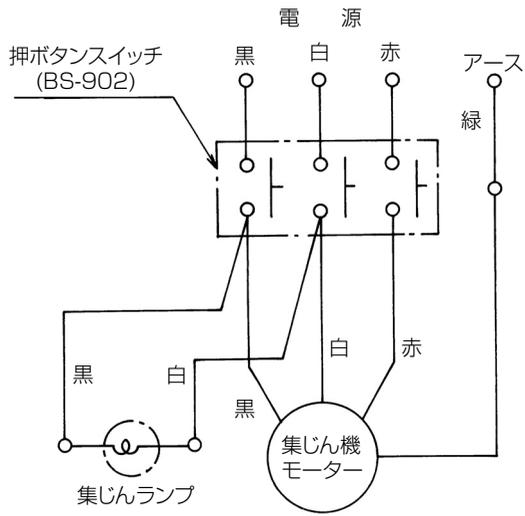
RG 150 構造図



部 品 表

品番	部 品 名	1 台 分 使用数量	備 考
1	上フタ	1	
2	トクボルト	5	
3	ファンカバー	1	
4	吸込口カバー	2	
5	集じんランプ	1	
6	押釦スイッチ BS902	1	
7	M 除じんレバー	1	
8	除じんブッシュ	1	
9	除じんツマミ	1	
10	除じんレバーブッシュ	1	
11	前フタ	1	
12	クランプ	4	
13	吸込口	1	
14	衝突板	1	
15	ダストボックス	1	
16	ファン	1	50 Hz 用
			60 Hz 用
17	フィルタ	2	
18	アイナット	2	
19	中フタ	1	
20	750 W モートル	1	
21	除じんレバー受け	1	
22	モートルベース	1	
23	除じんレバー B	1	
24	バネ取付ケベース	1	
25	除じんバネ組	4	
26	フィルタ押え	2	
27	ファンボスワッシャ	1	

接 続 図



メ 毛

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>